

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

1 学校名：香川県三豊市立吉津小学校

2 実施日時：事前指導 2018（平成 30）年 11 月 20 日（火）13：45-14：45

講演 2018（平成 30）年 11 月 30 日（金）13：25-14：30

2 対象：事前指導 児童約 50 名（5、6 年生）

講演 児童約 150 名（全学年）

4 派遣アスリート：事前指導 香川県車いすバスケットボールクラブの方々

講演 是友 京介 さん

（車いすバスケットボール バルセロナ大会、アトランタ大会、シドニー大会、アテネ大会、北京大会出場）

5 授業内容：実技、講演

2018（平成 30）年 11 月 30 日（金）に、香川県三豊市立吉津小学校にて、車いすバスケットボールの是友京介さんによる講演と実技体験が行われました。

是友さんの講演の事前学習として、11 月 20 日（火）に香川県車いすバスケットボールクラブの方々の指導の元で、5、6 年生の児童を対象とした車いすバスケットボール体験を実施しました。まず始めに、香川県車いすバスケットボールクラブの方によるルールや車いすバスケットボール用の車いすの特徴などに関する講義が行われました。続いて、児童を 9 チームに分けて、実際に車いすバスケットボール用の車いすに乗って試合を行いました。試合前に車いすに乗った状態で直線コースを往復する簡単なウォーミングアップを行いました。そこでは、車いすに乗ることが初めての児童がほとんどであったにも関わらず、クラブの方々のサポートもあり、すぐに車いすに慣れていく様子でした。しかし、実際に試合が始まると、思った方向に進めなかったり、うまくスピードをコントロールできずに悪戦苦闘している様子でした。また、自分の思い通りの方向に進めたとしても、ボールをうまくキャッチできなかったり、シュートがうまく打てなかったりして、車いすバスケットボールの選手のすごさを実感している様子でした。見ている児童も、大声で応援しており、点数が入った瞬間は歓声があがっていました。

上記の事前学習を踏まえ、11 月 30 日（金）には是友さんによる講演が行われました。講演では、まず始めに、日常生活用と競技用の車いすの違いについて、クイズ形式で紹介されました。ブレーキが付いていないことやバンパーが付いていることなどに加えて、是友さんからの「折りたたみができないのはなぜか？」や「ベルトが付いているのはなぜか？」という質問に、5、6 年生は事前学習を生かして積極的に回答している様子が見られました。次に是友さんの模範演技が行われました。とても速いスピードでドリブルとターンを繰り返す姿に歓声が上がっていました。また、3 ポイントラインからシュートしたボールが決まると、大きな拍手が送られました。続いて、是友さんがご自身の経験を通して考えたことをお話いただきました。高校生のときにオートバイの事故でケガを負った是友さんは、リハビリセンターで様々な障がいのある方を目の当たりにして、自分は車いすを

使えば自由に移動ができることに気づき、頑張って生きていこうと思ったそうです。そして、リハビリセンターで誘われて車いすバスケットボールを始めた是友さんは、パラリンピックの出場を目指して努力を続けました。そして、結果的に5回も出場を果たすことができた経験を通して、目標をもつことの大切さを学んだそうです。他にも、パラリンピックのときに選手村で過ごしたときのことや紛争地域の近くで国際試合をしたときのことなど、車いすバスケットボールを通して経験し、学んだことをたくさんお話しいただきました。

6 授業の様子



【 ルール説明 】



【 試合① 】



【 試合② 】



hh 【 代表児童の挨拶 】



【 講演① 】



【 模範演技 】



【 講演② 】



【 質疑応答 】